

菊池淡水 きくち たいすい 俳人。慶應四年八月二十九日豊後國直入郡生れ、昭和二年四月二十日歿（一八六一—一九六八）。本名綱次郎。別號僧山、菊子、菊廬舎、岡庵。埼玉縣師範學校、岡山縣矢掛中學校、順天中學校等で教職。俳諧は早く大供雷山の師事。大正三年河津井蛙と詞友會を組織、句集「言葉の友」を月刊、歿年まで百五十輯を重ねた。八年雷山より「立机を允ゆるぐれ、披露句集」可扶菴集こたけあんしゅう上梓。十五年渡邊長男作世蕉銅像開眼式を施行、記念句集「望蕉雅集」(大正十五年十月跋、私家版)を編纂刊行。

『岡庵淡水遺稿』(昭和四年七月十五日菊池のり子刊)は、生前自ら編んだ句集を以てした。

